

平成27年

6月14日(日) 10:00～17:00

参加無料

(申込不要)定員 280 名
受付は9:30から

総合司会 井上洋一(九州国立博物館)

10:00～10:05 開会挨拶 栗原祐司(国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長)

第1部 基調講演

10:05～11:30 「災害の歴史から学び、防災・減災の社会へ
—東日本大震災の地で考える—」

平川 新(宮城学院女子大学学長・東北大学名誉教授)

第2部 事例報告(11:35～15:15)

11:35～12:05 「東日本大震災後の民俗芸能の再開」
小谷竜介・大久保春野(東北歴史博物館)

12:05～13:15 (休憩)

13:15～13:45 「阪神淡路大震災から始まった歴史資料ネットと地域への展開
関西地域における震災・水害と文化財防災」
松下正和(近大姫路大学)

13:45～14:15 「市民とともに歩む文書館
—尼崎市立地域研究史料館の取組—」
河野未央(尼崎市立地域研究史料館)

14:15～14:45 「和歌山における地域歴史遺産保全活動について」
前田正明(和歌山県立博物館)
三本周作(和歌山県教育委員会)

14:45～15:15 「学生ボランティアの歴史遺産保存
—茨城史料ネットの活動から—」
添田 仁(茨城大学)
安田千明(茨城大学大学院)

第3部 パネルディスカッション

15:30～16:55 「地域と共に考える文化財の防災減災
—地域歴史遺産、市民参加、大学・ミュージアム、悉皆調査、
過疎化・高齢化・危機管理—」
司会：本田光子(九州国立博物館)

パネリスト

天野真志(東北大学災害科学国際研究所)・
内田俊秀(京都造形芸術大学)・奥村 弘(神戸大学大学院)・
田中淳也(対馬市教育委員会)・日高真吾(国立民族学博物館)・
三輪嘉六(NPO文化財保存支援機構)・村田眞宏(豊田市美術館)・
山内利秋(宮崎歴史資料ネットワーク)

16:55～17:00 閉会挨拶 大西浩二(九州国立博物館 副館長)

会場 九州国立博物館 ミュージアムホール
(福岡県太宰府市石坂)

主催 九州国立博物館 共催 一般社団法人 文化財保存修復学会

後援 (予定) 福岡県・福岡県教育委員会・太宰府市・筑紫野市・大野城市・
春日市・那珂川町・久留米大学



【問い合わせ先】九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

TEL: 092-918-2834・2842

(九州国立博物館ホームページ) <http://www.kyuhaku.jp>



「平成27年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」

地域と共に考える 文化財の防災減災



独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」公開シンポジウムⅠ



蔵出しされた古文書(写真/NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク)

